

学年
通信

魂知輪

令和6年 11月 15日
第 30 号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

言うは易く行うは難し

前漢の時代に調停で開かれた塩や鉄の専売を巡る討論を記録した書物『塩鉄論』の中に書かれている言葉で、「口で言うのは簡単だが、実行するのは難しい」ということです。

体重を落としたい、体重を落としたい、と言っている割には、給食のご飯がてんこ盛り。1000kcal を超えるハイカロリーな給食を大人が週5日食べていれば、体重は増える一方ですよ。やはり、分かっているけど食べてしまうというのが、私の意志の弱さかもしれませんが、気を遣って配膳をしてくれるみなさんの好意に対する感謝の気持ちということにしておこうと思います。

みなさんは、数ヶ月後に人生の分岐点に立ちます。そして、自分自身で判断し、自分自身で最後は決断しなければいけません。その準備ができていますか？自分に問いかけてみてください。

実力テストを返却しました。兵庫県の公立入試問題をイメージした問題構成であるテストです。『難しかった』、『時間配分が…』、『もう少し対策していれば』…他にも様々な反省があとに書かれていましたが、数日経てば、ゲームの話、どこかへ遊びに行った話が盛りだくさん。私は少し心配しています。週番では、学習の手引き以上勉強する、ですが、あしあとをめぐると、3年生は135分と書かれています。平日、宿題以外で135分するのは、していますか？

テスト返し、解説をされている時に教室の横を通ると、先生方は問題の解き方のポイントを丁寧に説明されていました。入試では、どんなパターンで出題されるかわかりません。今までと違うパターンで出題される可能性だってあります。どんな問題が出て、迷わず解くことが出来るようになるには、たくさん問題を解いて、練習しておかなければいけません。

先生たちは必死です。どう説明すれば分かりやすく、どう話せば、定着しやすいか、考えて考えて授業をしています。期末テストが目前ですが、範囲が限られています。きちんとテスト範囲表を見て、学習計画を立て、当日に向かってほしいと思います。

梅子の部屋は一日にして成らず

毎日、誰かを呼び止めては話をする。もちろん世間話や、他愛もない話、趣味の話。最近は、それが時期的なものもあり、進路についての話ばかりになってきました。開口一番に、進路が、勉強が、課題が…。頭が痛くなってくることでしょうか。それはわかっています。なぜなら、私も中学3年生の時そうだったから。では、なぜ頭が痛くなるような経験をしたにもかかわらず、同じ思いを君たちにさせようとするのか。「お前たちも苦しみを味わえ〜〜」と悪魔のような考えを持っているわけはありません。私自身が、今『後悔』しているからです。あのときやっとならばよかった、と何度思い返しても、元には戻りません。今私ができることは、私と同じ失敗をする人を一人でも少なくすることです。

出来ないと思ったら出来ないし、やろうとしないと出来ない。そしてやらなかったらもちろん出来ない。もし出来たとしてもそれはたまたま出来ただけ。何の役にも立ちません。

私は、こういった話を、分かってもらえるまで分かってもらえると信じて、出来るまでみなさん一人一人にしていくつもりです。



昨日、午後にクラシックピアノコンサートを鑑賞しました。1時間程度でしたが、非常に有意義な時間であったという話を聞きました。やはり生の演奏を聴くというのがいいですね。

YouTube やテレビで聴く音楽も良いですが、肌で感じる音というものはやはり、生が一番です。そんな生の音楽、義務教育最後は、合唱で終わります。生の声を新しい体育館に響かせられるよう、曲決めをしっかりとっていきましょうね。